

筆者が食道癌に興味を持ち始めた約 30 年前、千葉大学第 2 外科の内視鏡研究室の先輩が噴門癌の食道浸潤の内視鏡診断に取り組んでいた。当時はもちろん全例進行癌であり食道粘膜下層の口側診断が主体であった。本号を読み終わり、隔世の感がある。しかしいつの時代にもその時々で新たな問題点が浮き上がるものである。本号の主題症例、高木論文の 9 か月間の経過をみた症例はまさしくこの領域に興味を持つプロが根性で見つけた症例であろう。狭義の食道胃接合部にできる扁平上皮癌以外の癌の発生は胃腺窩上皮、食道噴門腺、固有食道腺、Barrett や異所性胃粘膜の円柱上皮から発生するはずである。病変のない食道胃接合部の材料からの詳細な病理検討により、噴門腺の局在部位も新しい見解が報告された。発育進展の検討では噴門癌の特徴として、高分化型として発生するが異型度が高く早

期に深部浸潤を来し、結果的には低分化型進行癌を形成するとの推測も提示された。

診断については、まず病変の同定に始まるが、屈曲・蛇行のみられる部位であり、ミリ単位の早期癌を見つける努力には執念が必要である。本号では X 線造影、内視鏡撮影、生検採取のコツが提示された。今日ではどこかの消化管癌でも早期の段階で診断さえすれば内視鏡手術や QOL の高い縮小外科手術が得られる時代になってきている。症例数の少ない噴門癌でも同様であり、主題症例でその点が強調されている。

接合部癌の発生については Barrett 上皮の腸上皮化生が重要視されてきたが、それを主張する文献はいずれも 1980 年代のものである。本号の論議から新たな問題が提起され、この領域の癌研究の新展開が世界に発信できれば編集委員として望外の喜びである。

胃と腸

5 月号 (第 36 巻・第 6 号) 予 告

発売予定

5 月 25 日

定 価 (本体 2,300 円+税)

主題／早期大腸癌の深達度診断に EUS と拡大内視鏡は必要か

序 説	拡大内視鏡と EUS は早期大腸癌の診療に必要なか？……………多田消化器クリニック	多 田 正 大
主 題	EUS による早期大腸癌の深達度診断の有用性と限界……………大阪鉄道病院・消化器内科	清水 誠治・他
	拡大内視鏡による深達度診断の限界……………秋田日赤・胃腸センター	山野 泰穂・他
	早期大腸癌の深達度診断に EUS と拡大内視鏡は必要か……………福大筑紫病院・消化器科	津田 純郎・他
	色素散布を併用した通常内視鏡の早期大腸癌深達度診断能	
	—超音波内視鏡と拡大内視鏡の必要性……………昭和大附属豊洲病院・消化器科	幸田 隆彦・他
	早期大腸癌深達度診断における拡大内視鏡と超音波内視鏡の役割……………久留米大・2 内	鶴田 修・他
	早期大腸癌における細径超音波プローブと拡大内視鏡の	
	深達度診断—通常内視鏡診断との比較から……………仙台市医療センター・消化器内科	松永 厚生・他
	早期大腸癌の深達度診断における EUS と拡大内視鏡の	
	位置づけ—EUS を重要視する立場から……………手稲溪仁会病院・消化器病センター	野村 昌史・他
	早期大腸癌の深達度診断における EUS の有用性—通常内視鏡	
	診断との比較: EUS を重要視する立場から……………大阪医大・2 内	浜本 順博・他
	早期大腸癌の深達度診断における EUS と拡大内視鏡の位置づけ	
	—拡大内視鏡を重要視する立場から……………国立がんセンター中央病院・内視鏡部	藤井 隆広・他
	拡大内視鏡を重要視する立場からみた早期大腸癌の	
	深達度診断の有用性—V 型歪分類とクリスタル	
	バイオレット染色併用法の必要性について……………多摩がん検診センター・消化器科	中村 尚志・他
座 談 会	早期大腸癌の深達度診断に EUS と拡大内視鏡は必要か……………早期胃癌検診協会	丸山 雅一・他

胃と腸 (第 36 巻 第 5 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho @ igaku-shoin.co.jp

2001 年 4 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,300 円+税) (配送料 116 円)

2001 年年ぎめ予約購読料 33,810 円

(増刊号 5,500 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有します。

• JCLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 渡辺・阿野・永安・小松原